

No.	該当 ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の 有無	第2次健康づくり支援計画 修正案
1	P18	健康寿命の状況	・最初に健康づくり支援計画について膨大な資料作成いただき感謝致します。これからの取り組みについて関係している項目が理解できるのでわかり易くなります。 ・流山市の健康寿命の状況の説明の中で 平均要介護期間の伸びを上回って平均自立期間を伸ばしていくことが重要となります。 とありますが これの具体的な対策を立てる必要が有ると思います。 ⇒①流山市以外の地域との比較表。 ⇒②流山市として特長を持った対策重点項目は何か？ など	本市の平均寿命は男女とも千葉県で最も長寿となりましたが、このうち健康な期間(健康寿命)をできるだけ長くすることが必要です。 健康寿命は「生存」・「死亡」と「健康」・「不健康」の総合指標で、多種多様な要因が複雑に影響すると考えられています。また、健康寿命の指標として平均自立期間を取り扱う際には、算出上の誤差を考慮せずに他市町村との単純な比較や順位付け等は誤った認識につながる可能性があることなどに留意が必要とされています。 これらを踏まえ、本計画において平均自立期間を活用するに当たっては、「他市町村との比較よりも本市における経年変化に着目すること」、「乳幼児期から高齢期までのすべての市民を対象とした健康づくり全体の総合的な状況・目標・成果を表す指標の一つとして活用すること」などに留意して使用していきたいと考えています。 なお、令和元年12月25日付で厚生労働省から通知があり、今後、国保データベース(KDB)システムの介護保険データにより、全国・都道府県・市町村ごとに平均自立期間が毎年算出されることとなりました。このため、本計画においても、この「KDB平均自立期間」を使用することとし修正します。	有	素案18頁(健康寿命の状況)、40頁・100頁(全体目標指標)について、以下のとおり修正します。 「65歳平均自立期間(平成27年):男性18.55年・女性20.46年」→「平均自立期間(平成29年):男性80.8年・女性83.7年」 「65歳平均余命(平成27年):男性20.53年・女性24.45年」→「平均余命(平成29年):男性82.5年・女性87.2年」